

指文字

わ Wの形	ら Rの形	や Yの形	ま Mの形	は 7画ハット指文字Hから	な Nの形	た 親指を「た」てる	さ 7画ハット指文字Sから	か Kの形	あ aの形
を 「お」を「え」にひく	り 「り」を「る」にひく	に 「に」を「ぬ」にひく	み 三の形	ひ 「ひ」と「ひ」をひく	に 二の形	ち 手の形	し 七の形	き ぎつねの形	い Iの形
ん 「ん」を「ん」にひく	る ルの形	ゆ 温泉マーク「ゆ」から	む 六の形	ふ カタカナ「フ」	ぬ めすむの「ぬ」	つ ツの形	す スの形	く 九の形	う Uの形
はーはー	れ 「れ」を「れ」にひく	め ちいさい「め」を「め」にひく	目 目の形	へ 「へ」の形	ね 木の根	て 手のひら	せ 背の高い指	け 敬礼の手の形	え Eの形
ろ ロの形	よ 四の形	も 「も」を「も」にひく	ほ 帆の形	の 「ノ」をかく	と 「と」をかく	そ 「それ」の形	こ カギの形	お Oの形	

※図は相手から見た絵であらわしてあります。

数字

0 アルファベットの「O」を表します	1 指を1本だけ立てます	2 指を2本だけ立てます	3 指を3本だけ立てます	4 指を4本だけ立てます
5 親指を横に出します	6 手の甲を相手に向けて親指を上、人さし指を横にのばします	7 手の甲を相手に向けて親指を上、人さし指と中指を横にのばします	8 手の甲を相手に向けて親指を上、小指以外の指を横にのばします	9 手の甲を相手に向けて親指を上、それ以外の4指を横にのばします
10 人さし指を折り曲げます	100 人さし指を横から上にはね上げます	1000 人さし指で漢数字の「千」をかきます	10000 人さし指で漢数字の「万」をかきます	

※図は相手から見た絵であらわしてあります。

気持ち・その他

うれしい・楽しい



両手のひらを左右の胸に当て交互に2回上下に動かします。

悲しい



右手の親指と人さし指を付けて目下にあてます。小さく左右に揺らしながら下に動かします。(涙が流れるイメージ)

わかりました



右手で胸をなでおろします。(のみこめたというイメージ)

わかりません



右手の指先で、右胸の上あたりを2回はらい上げます。「知らない」という手話も同じです。

耳が聞こえません



耳の横で手をおおくように2度上下します。

手話をお願いします



手話…両手の人さし指をクルクルかいてんさせます。お願いします…少し頭を下げ、頭の正面で右手を少し前に出します。

書いてください



書く…開いた左手の上で、親指と人さし指2指をつまんだ形にした右手で字を書く仕草をします。お願いします…少し頭を下げ、頭の正面で右手を少し前に出します。

地震



両手の手の平を上に向けて同時に前後にゆらします。

火事



両手で屋根を作り、右手を揺らしながら上にあげます。(火がもえ上がるイメージ)

緊急



右手を上にあげ顔の横で回します。(回転というイメージ)

逃げる



両手をにぎり、むねの前から同時になめ上にあげます。(にげるイメージ)

保護者の皆様へ

京都市では平成28年3月25日、「京都市手話言語がつかなく心豊かな共生社会を目指す条例」が、京都市議会議員全員により提案され、制定されました。この条例では、手話への理解促進・普及をすすめて、全ての人が相互に人格と個性を尊重することを基本理念に、豊かな共生社会を実現することを目指しており、全国各地で手話の普及を図る条例制定が広がっております。また、教育現場において、未来の担い手である児童及び生徒が手話に接する機会を提供するなど、手話に親しむための取組を通じて、手話に対する理解を促進するよう本条例で定められております。ご家庭でも、本リーフレットを活用してお子さまとお話いただき、手話による自由なコミュニケーションが保障される社会の構築のためできることから取り組んでいきましょう。

手話について詳しく知りたい・学びたい

- 市民向け手話講座
 - 京都市内の手話サークル
 - 手話通訳者の養成講座
 - 手話に関する書籍やDVD
- <問合せ先> 京都市聴覚言語障害センター
住所:京都市中京区西ノ京東中合町2番地
TEL:075-841-8337 FAX:075-841-8312
- <問合せ先> 京都府聴覚支援センター
住所:京都市右京区御室大内4番地
京都府立聾学校内
TEL:075-461-8121 FAX:075-461-8122
- 0歳児からの乳幼児教育相談
 - 地域向けの公開講座等の実施

発行:京都市教育委員会事務局指導部総合育成支援課
TEL:075-352-2285 FAX:075-352-2305
平成30年3月発行

心をつなぐ手のことば

手話で話そう!



京都市では平成28年3月、「京都市手話言語がつかなく心豊かな共生社会を目指す条例」(手話言語条例)という「決まり」がつけられました。

条例が目指していること

- 1 手話を広めてみんなの身近なものにすること。
- 2 手話を必要とする人が、どんな場面でも手話でコミュニケーションがとれること。
- 3 手話が市民や観光客などみんなの心をつなぎ、全ての人がお互いに尊重し合いながら共に生きること。

「手話は言語」を合言葉に、みなさんも手話で会話してみましょう。
人と人との心をつなぎ、心が温かく、豊かな気持ちになれるよ。

手話とは・・・

耳が聞こえない人で、手話を第一言語とする人を「ろう者」、病気などにより生まれてから耳が聞こえなくなった人を「中途失聴者」、耳が聞こえにくい人を「難聴者」といいます。手話とは、手や指の動きや表情などを使って伝えたいことを表現する言語の一つで、このような、耳が聞こえない人、聞こえにくい人、話すことが難しい人たちの、コミュニケーション手段として育まれてきました。

私たちのまちには、障害のある人、子どもから高齢者まで様々な人が一緒に暮らしていて、誰もが人間らしく生きる権利（基本的人権）をもっています。

しかし、実際には障害のある人などは、色々な生活の場面で困ってしまうことが多くあります。障害のある人がどんなことに困っているのかみんなで考えてみましょう。

耳が聞こえない人

- 災害など緊急時のアナウンスや自動車のクラクション、自転車のベルが聞こえず危険に気づきにくい。
- 何を言われているのかわからない、言いたいことが伝えられない。

目が見えない人

- 本や新聞など文字だけで書かれているものが理解できない。
- 置いてある物にぶつかったり、段差でつまずいたりする。

手や足など身体に不自由のある人

- おはしを持つことが難しい。
- 一人で行きたいところに行けない。

知的発達に障害のある人

- 聞いたことや読んだことを記憶する、理解することが難しい。
- 予想や計画をたてることが難しい。

手話や筆談で伝えてほしい

音や声で伝えてほしい

何をしてほしいか本人の気持ちを聞いてほしい

ゆっくりわかりやすく説明してほしい

そのほかにどんな困りごとがあるか考えてみよう！

ほくたち、わたしたちに何ができるか話し合ってみよう！



あいさつ

朝 おはよう



右手のこぶしをまぐらのようにして頭をかたむけ頭を起こすと同時に右手まぐらを下げます。(まぐらを外して起きるイメージ)

よろしくお願いします



よろしく...右手のこぶしの親指側を鼻にあてます。(鼻が高いイメージ)
お願いします...少し頭を下げ、頭の正面で右手を少し前に出します。(あいさつで頭を下げるイメージ)

昼 こんにちは



右手の人さし指と中指を立て人さし指のつけ根をおでこの中央に当てます。(時計の12時を示す)

はじめまして



初めて...左手の甲に右手のひらを重ね上げながら、人さし指以外をにぎります。
会う...人さし指を立てて指のひらを向かい合せ同時に近づけます。(人と人が会うイメージ)

夜 こんばんは



手のひらを前に向けて両手を顔の横に置き、顔の前で交差させます。(カーテンを閉めるイメージ)

ありがとう



左手の甲の上に右手を垂直にのせ、右手だけを上げます。(すもうのけんしょう金を受取るイメージ)

おやすみ



顔の横で両手を合わせて顔を手の方へ少しかたむけます。(まぐらでねるイメージ)

ごめんなさい



親指と人さし指でみけんをつまむようにします。手を開き指をそろえて上から下へ軽く下ろしながら頭を下げます。(あやまる時のイメージ)

学 校

先生



右手の人さし指を伸ばして図のように指先を斜め下に2回下ろします。(先生が教えているイメージ)

勉強



両手を開き、手のひらは手前に向けて体の前に、ななめに並べて立てたら、両手をトントンと上下させます。

友達



両手の手のひらをしっかりとにぎります。(あくしゅのイメージ)

本を読む



両手を合わせて本を開くしぐさをします。①左手の手のひらを手前に向け、②③右手の人さし指と中指を上下させます。

チャイム



右手の親指と人さし指で輪を作り、軽くふります。(すずをふるイメージ)

野球



右手の人さし指を立て左手をグーにして図のように①右手の人さし指を左手の背に当てその反動で②左手を左側へ飛ばします(バットで打つイメージ)

テスト



両手とも親指をたて2回こうごに上下させます。(競うイメージ)

ドッジボール



ドッジボールの球を右手で投げて、両手で受け止めるようにさせます。

さあ！手話を使ってみましょう！～自己紹介～

※このリーフレットは、右利きの人で示していますが、左利きの方は、逆でも伝わります。また、手話も地域や世代により、別の示し方もあります。

このページは切り取ることができません。いつも持ち歩いて手話を使ってみましょう。

例 私の名前は〇〇と申します。

わたし → 名前 → 〇〇 〇〇 (姓又は名前) → いいます

自分を指します。 → 右手の親指と人さし指で輪を作って左胸の前に当てます。(名札をイメージ) → 指文字で表してみましょう。 → 右手の人さし指を立て、口元から前へ出します。

例 私は小学4年生です。

わたし → 小(学校) → 4 → 中(学校)

自分を指さします。 → 左手の人さし指を立て、右手の人さし指と中指ではさみます。(小の字を作ります) → 指を4本立てます。 → 左手の親指と人さし指の真ん中に右手の人さし指をあてます。(中の字を作ります)

例 私は京都に住んでいます。

わたし → 京都 → 場所 → 住む

自分を指さします。 → 両手の人さし指を下に親指を横にのばして胸の前に置き、2回おろします。(橋のらんかんをイメージ) → 右手でボールをつかむような形を作り軽く下におろします。(ここを示すイメージ) → ひじを曲げて両手のグーを向き合わせて両ひじを同時におろします。(いる、いすわるイメージ)

例 私が好きなスポーツはサッカーです。

わたし → 好き → サッカー

自分を指さします。 → 右手の親指と人さし指をのどに向け前方向なめ下へ引きながら閉じます。(のどを通るイメージ) → 左手の親指と人さし指で輪を作り、右手の人さし指と中指でけるしぐさをします。(ボールをけるイメージ)